

堤防法面へ設置する太陽光発電設備の開発

別紙



矢作川・豊川CNプロジェクト

提案者(代表企業): パシフィックコンサルタンツ(株)

再生可能エネルギーのさらなる普及には、太陽光発電が設置可能なフィールドの拡大が必要

河川（遊水地）堤防の法面は、これまで太陽光発電設備の設置が検討されていない

ペロブスカイト太陽電池等と法面ブロックを一体化した製品を河川（遊水地）堤防法面に設置する実証実験を実施（河川以外の法面への展開も期待）

○実証実験の目的

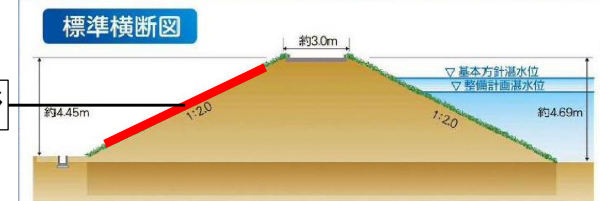
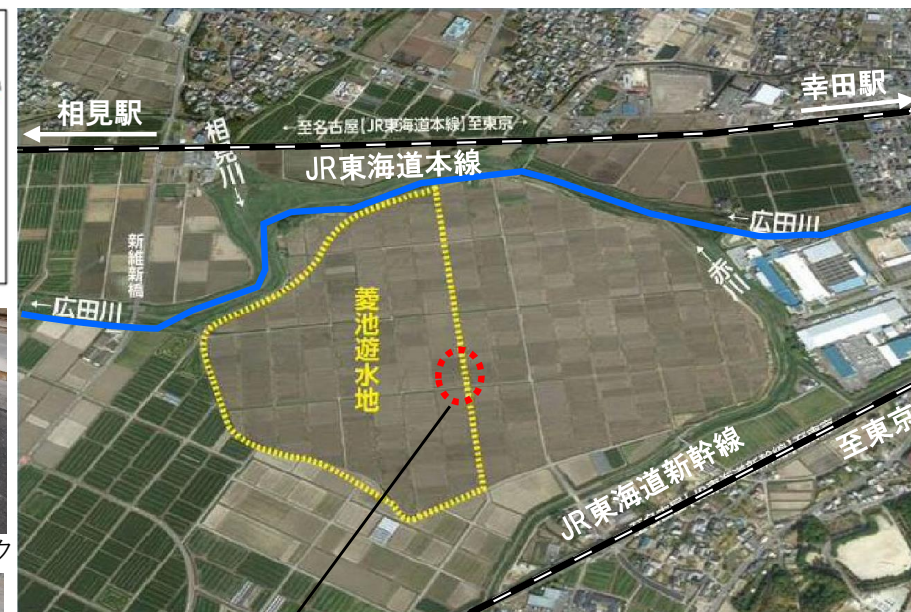
堤防機能を損なわない設置方法、発電効率やメンテナンス方法の確認などを行う。



ペロブスカイトブロック

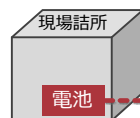


シリコンブロック



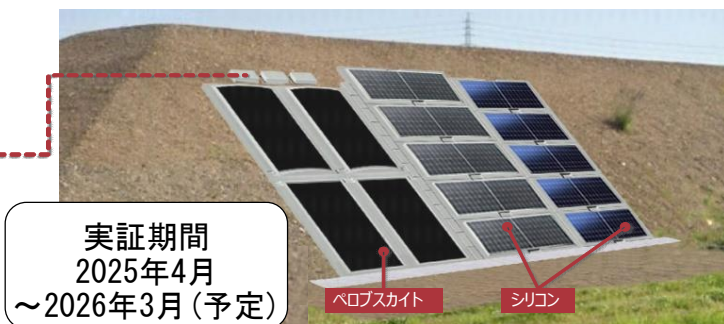
設置箇所イメージ

※太陽電池と法面ブロックを一体化（ブロックは低炭素型製品を使用）



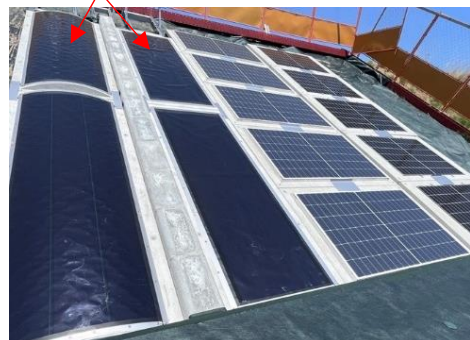
現場箇所
電池

自主事業として
遊水地工事業者
詰所に電池設置



実証期間
2025年4月
～2026年3月(予定)

ペロブスカイト



シリコン